

# ～地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業～

## 〔令和6年度実施地区〕 長井市西根地区

### ■実施体制

- 実施主体：地域住民
- アドバイザー：江成 はるか氏（雪国野生動物研究会）
- コーディネーター：置賜総合支庁農業振興課、長井市

### ■地区のプロフィール

- 地区内の戸数：884戸 うち農家数約283戸
- 主な被害作物：水稲、そば、WCS、デントコーン等  
農地の掘り起こし
- 主な加害鳥獣：クマ、イノシシ、カモシカ、タヌキ  
ハクビシン



## 1. 取組のきっかけ

- クマは以前から地区全体で出没しており、農作物被害としては、デントコーンの食害が発生している。
- 数年前からイノシシの生息も確認されており、水稲の掘り起こし等の農作物被害が発生している。
- 令和5年度地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業を活用し、電気柵の設置方法等を中心に学んだ。
- 電気柵を設置する農家が増えてクマ、イノシシ等の農作物被害が顕著であり、引き続き地域一体となった対策が必要であると考えた。

## 2. 取組の内容

- 事前打ち合わせ(令和6年5月9日)  
アドバイザー、県、市、地区代表者による打合せを行い、被害状況の確認や意見交換を行った。
- 第1回研修会(令和6年7月13日)  
アドバイザーによる講義を受けた後、集落環境点検を行った。  
集落環境点検では、地区で選定した3か所を中心に点検を実施し、出没マップを作成した。  
出没マップを作成したことで、有害鳥獣の出没経路を可視化することができ、今後の対策を考えるいい機会になった。
- 第2回研修会(令和6年10月1日)  
アドバイザーによる鳥獣に関する授業を西根小学校で行った。  
子供達に興味をもってもらうことで、保護者等にも話が広がり、地区全体で鳥獣に対する意識向上に繋がった。
- 第3回研修会(令和6年11月16日)  
アドバイザーによる講義を受けた後、集落環境点検を行った。  
第1回研修会と同じ場所を点検したが、アドバイザーではなく地区代表者がリーダーとなり、集落点検を行うことで、今後も地区が主体的に集落環境点検を実施することに期待できる。



講義(第1回研修会)



第2回研修会(小学生授業)

## 3. 課題と今後の展望

- 鳥獣対策は、「何のために、対策をしているのか」を明確にし、少しずつやってみることで、いい方向に向かっていくことを学んだ。
- 今後は、地区住民の協力のもとに出没マップを作成するほか、補助事業を活用して電気柵の設置を行い、自立した地域ぐるみの活動ができるようにしていきたい。